

Not doing well !!
急変はない予兆をキャッチせよ

無床診療所等における 医療安全管理体制構築に関する提案

2008. 11. 29

無床診療所等における医療安全管理担当者研修
厚生労働省科学研究費補助金(地域医療基盤開発推進研究事業)
「無床診療所等における医療安全管理体制構築に関する研究」
(主任研究者: 石川雅彦)

国立保健医療科学院 政策科学部
石川 雅彦



M.ISHIKAWA, National Institute of Public Health

無床診療所等における 医療安全管理体制構築に関する提案

【本日のテーマ】

- 1) 医療安全管理体制整備の現状
- 2) 地域における医療安全ネットワーク構築
- 3) 実践的医療安全トレーニングの実施

M.ISHIKAWA, National Institute of Public Health

医療安全に関する政策上の3つの流れ

- 1) 医療安全対策加算：平成18年4月、**新設**
- 2) 医療安全管理者の業務指針および
養成のための研修プログラム作成指針
平成19年3月、公表
- 3) 良質な医療を提供する体制の確立を図るための
医療法等の一部を改正する法律の
一部の施行(第2 医療の安全に関する事項)
平成19年4月、施行

M. ISHIKAWA, National Institute of Public Health

平成18年度診療報酬改定における主要改定項目について 医療安全対策加算の新設

急性期入院医療において、医療機関内の医療安全管理委員会の連携による、より実効性のある医療安全対策を組織的に推進するため、医療安全対策に係る専門の教育を受けた看護師、薬剤師等を医療安全管理者として専従で配置している場合について、入院基本料に対する加算を新設する。

新

- ・医療安全対策加算(入院初日) 50点

M. ISHIKAWA, National Institute of Public Health

【医療安全対策加算】

(問16)適切な研修とはどのような研修か。

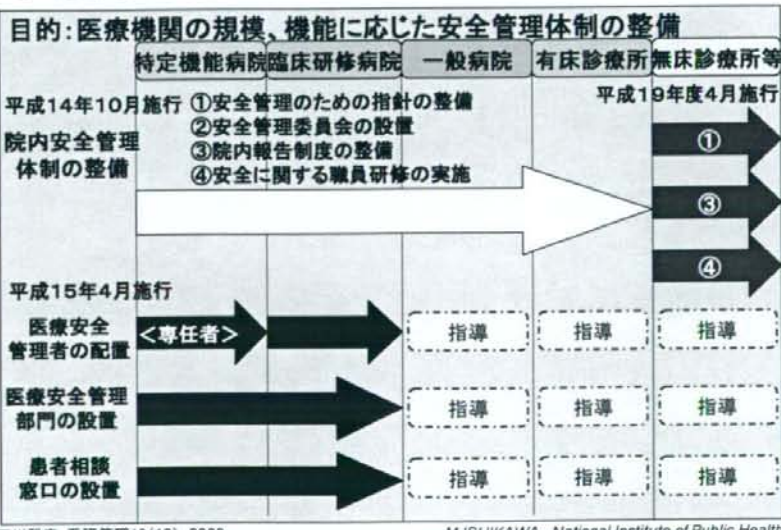
(答)

- ・国及び医療関係団体等が主催する研修
- ・医療安全管理者の養成を目的とした研修であること。
- ・通算して40時間以上又は5日程度の研修であること。
- ・院内の安全管理のための体制確保のための研修ではなく、医療安全に関する制度、医療安全のための組織的な取組、事例分析・評価・対策、医療事故発生時の対応、コミュニケーション能力の向上、職員の教育研修、意識の向上等のカリキュラムが盛り込まれた研修であること。
- ・講義又は具体例に基づく演習等が実施される研修であること、なお、既に受講した研修がこれらの要件を満たしていない場合には、不足する要件を補足する研修を追加受講することでも差し支えない。

(18.3.31疑義解釈)

M ISHIKAWA, National Institute of Public Health

医療機関における安全管理体制の整備の義務化



石川強彦, 医療管理18(12), 2008

M ISHIKAWA, National Institute of Public Health

医療機関の規模・機能に応じた 安全管理体制整備の取組み

医療機関の規模・機能 安全管理体制	特 定 機 能 病 院 臨 床 研 修 病 院 一 般 病 院 有 床 診 療 所	無 床 診 療 所 等
整 備 が 義 務 化 され た 安 全 管 理 体 制	①安全管理のための 指針の整備	①安全管理のための 指針の整備
	②安全管理委員会の 設置	
	③院内報告制度の整備	③院内報告制度の整備
	④安全に関する職員 研修の実施	④安全に関する職員 研修の実施

石川雅彦・看護管理18(4)・2008

M.ISHIKAWA, National Institute of Public Health

無床診療所等における 医療安全管理体制構築に関する提案

【本日のテーマ】

- 1) 医療安全管理体制整備の現状
- 2) 地域における医療安全ネットワーク構築
- 3) 実践的医療安全トレーニングの実施

M.ISHIKAWA, National Institute of Public Health

医療安全推進における課題

- ①医療安全におけるリーダーシップの発揮
- ②医療安全推進に必要な医療安全管理者、および医療安全推進者等の人材育成
- ③無床診療所等における医療安全管理体制の整備を含めた地域単位での医療安全の推進
⇒地域における
医療安全ネットワークシステムの構築

M ISHIKAWA , National Institute of Public Health

今、なぜリーダーシップか？

医療安全を取り巻く状況の複雑化



医療安全を確保・推進するために
組織一丸となった取り組みが必要



トップマネジメントと医療安全管理者をはじめとするそれぞれの立場における
リーダーシップ発揮が重要！

M ISHIKAWA , National Institute of Public Health

組織の“医療安全力”を高める

トップマネジメントはもちろん
医療安全管理者
部門・部署の責任者や各安全関連の委員会
そして、職員個々が
それぞれの立場に求められている
リーダーシップを発揮する
↓
組織の“医療安全力”が高まる

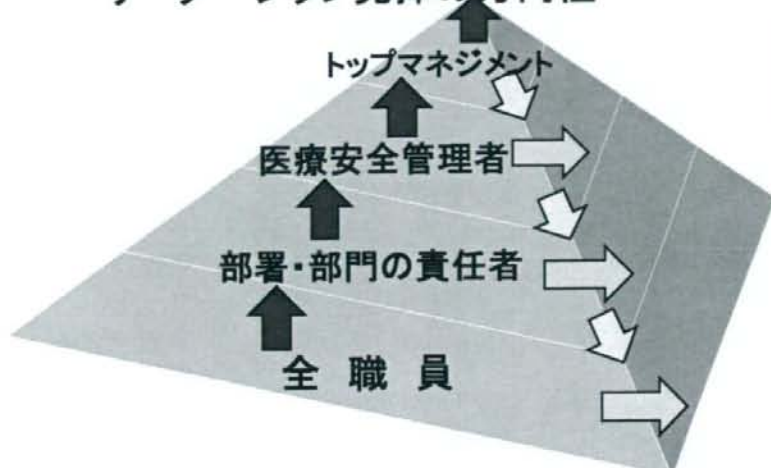
M.ISHIKAWA, National Institute of Public Health

組織の“医療安全力”を高める取り組み

- ① トップマネジメントのリーダーシップ
- ② 職員個々の医療安全に関する能力育成
- ③ 職員個々の連携・協働による能力の結集

M.ISHIKAWA, National Institute of Public Health

それぞれの立場における リーダーシップ発揮の方向性



石川雅彦:看護管理18(4), 2008

M. ISHIKAWA, National Institute of Public Health

人材育成で重要なことは

当時者のやる気・主体性



職員個々の活動の成果が認められること

目標が明らかにされていること

環境、経済的支援が整備されていること



明確なリーダーシップが発揮されていること

M. ISHIKAWA, National Institute of Public Health

今後、求められる 医療安全におけるリーダーシップ

自施設内において、
求められるリーダーシップを発揮し、
医療安全推進を図る



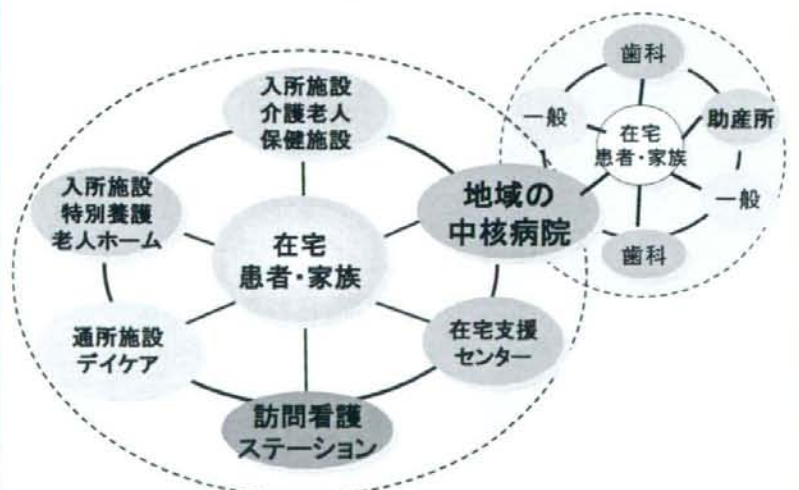
施設を越えて地域単位での
リーダーシップ発揮
連携・協働による医療安全推進が重要



地域における医療安全ネットワークシステム構築

M.ISHIKAWA, National Institute of Public Health

地域における医療安全ネットワーク



石川雅彦：看護管理18(12)：2008

M.ISHIKAWA, National Institute of Public Health

専門分野を超えた連携・協力の可能性

同じ専門分野の医療機関の連携・協力
(一般診療所と一般診療所、歯科診療所と歯科診療所
助産所と助産所など)



違う専門分野の医療機関における連携・協力

- ①双方の取り組み例が参考になる
- ②違う視点をもった機関の連携によって、
思いがけない取り組みの発想が可能

M. ISHIKAWA, National Institute of Public Health

医療安全推進のための展望

- 今後、医療安全を推進するためには、多職種による職種横断的なチームでの医療安全管理が重要となる。
- 多職種が参加する職種横断的なチームにおける“チーム力”を拡大するためには、職種間コミュニケーションの改善が欠かせない。
- 職種間コミュニケーションの改善、およびチーム医療を推進するための実践的医療安全トレーニングが、今後の医療安全教育のカギを握る。

M. ISHIKAWA, National Institute of Public Health

無床診療所等における 医療安全管理体制構築に関する提案

【本日のテーマ】

- 1) 医療安全管理体制整備の現状
- 2) 地域における医療安全ネットワーク構築
- 3) 実践的医療安全トレーニングの実施

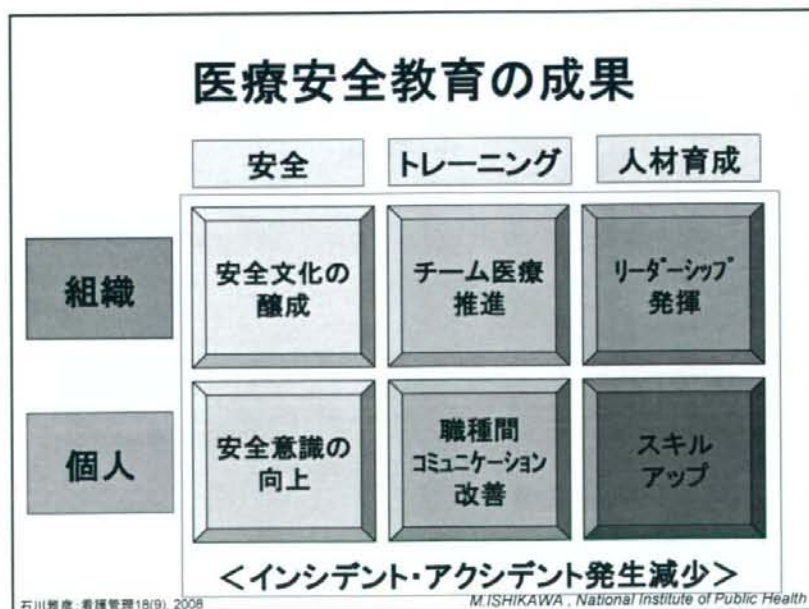
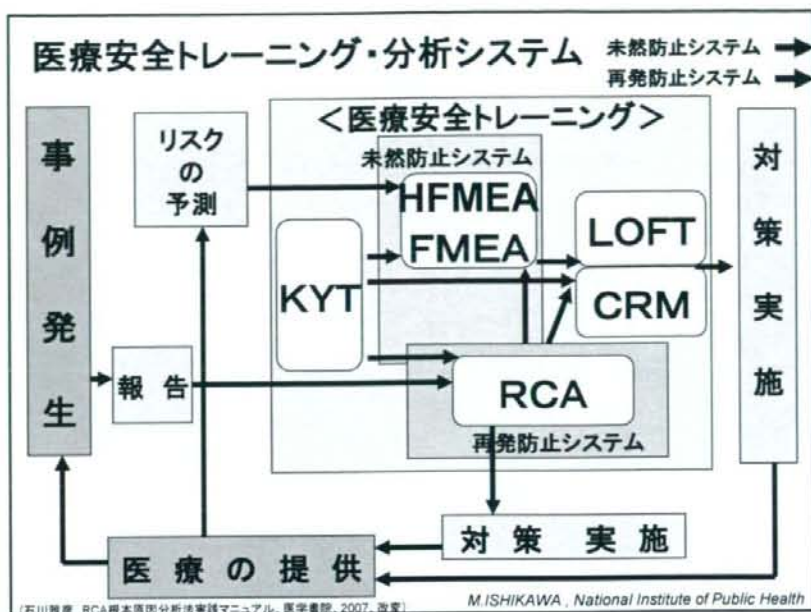
M.ISHIKAWA, National Institute of Public Health

医療安全トレーニングとは・・・

- 医療安全トレーニングは、医療者のリスクセンスを磨き、医療事故の発生要因などの知識を理解し、医療事故防止対策を実施するために必要な技術を身につけるとい個人¹の能力育成と同時に、チーム医療を推進することを目的として実施される。

〔石川雅彦 RCA根本原因分析手法実践マニュアル、医学書院、2007〕

M.ISHIKAWA, National Institute of Public Health



リスクを予測・防止するには・・・

ある状況におけるリスクに自ら“気づく力”



気づいたリスクにどのような対応が必要か

“考える力”



この2つの“気づく力”+“考える力”によって



リスクを予測、対応して、行動化(防止)

M.ISHIKAWA, National Institute of Public Health

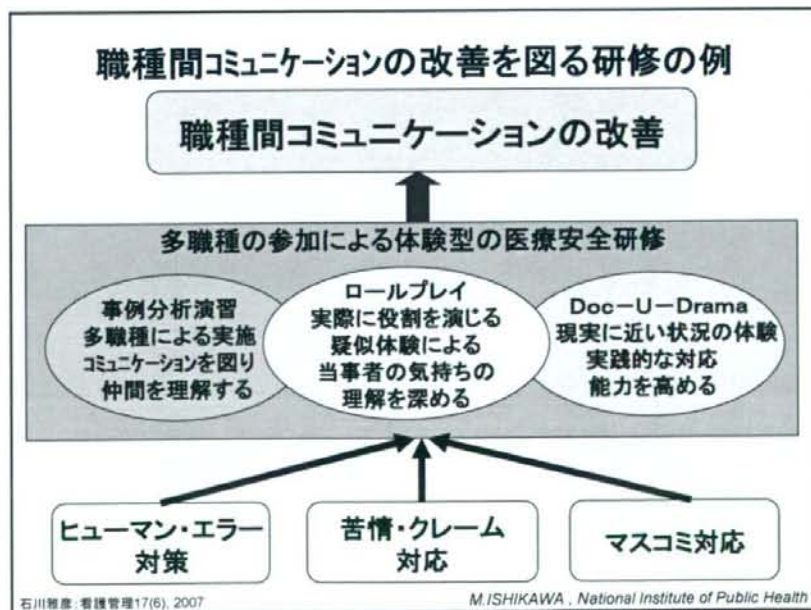
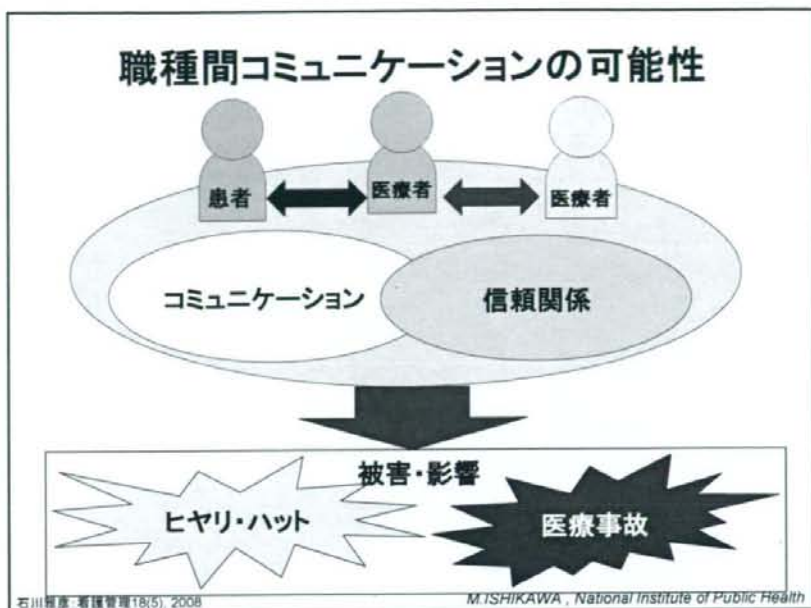
Critical Language (批判的・重要発言)

—「ちょっと待って、私の話を聞いてください」—

- 「私はこう考えますが・・・」
- 「何か変ですよ」
- 「危ないな・・・」
- 「もう少しわかりやすく言
下さい」



M.ISHIKAWA, National Institute of Public Health



地域における連携・協力

- 地域の中核病院や連携・協力している医療機関で実施されている医療安全教育に参加させてもらう。
- 複数の無床診療所間で連携・協力して、医療安全トレーニングの企画・実施を検討する。
- 複数の医療機関で連携・協力する体制を整え、情報を共有することで課題を克服し、効率よく医療安全教育を実施することも可能となる。

M ISHIKAWA, National Institute of Public Health